

学校教育目標

学び合い 高め合い 自分も人も大切にできる明親の子

1 目指す学校の姿



- 学び合うことが 楽しいと思える学校。
- やさしさあふれる あたたかい学校
- 保護者や地域から 信頼される学校

2 目指す子どもの姿



めあてに向かって
自ら学ぶ子

将来への夢や目標、なりたい自分に向かって、自ら学習に取り組む子。仲間との学び合いを通して、互いを高め合える子。



命や心を
いくくしむ子

人の命や心、ものを大切にする子。自然や地域を愛せる子。



心身ともに
健康な子

健康で安全な生活を自分で実践し
元気で気持ちのよいあいさつができる子。



★家庭・地域の協力

- 仕事にやりがいとプロ意識をもって、学び続け、
高め合える教職員
- 自らかかわりをもち、子どもとの対話を大切に
する教職員
- 一人一人の子どもの良さを見つけ、ほめて叱って
認めて伸ばす教職員
- 人権感覚を磨き、いじめや偏見を見逃さずに指
導し、子どもの心身の安全を守る教職員
- 明るく笑顔の教職員

【家庭に望むこと】

- ・ 基本的な生活習慣の確立
- ・ 家庭学習の充実
- ・ 日々の会話と目配り

【地域に望むこと】

- ・ 地域の特色や強みを生かした
学習への協力
- ・ 地域行事や登下校の見守り

4 つけたい資質・能力

- 『 考える力 』…既存の知識をもとに、自分の考えをはたらかせて解決していく力
『 話し合う力 』…課題解決に向かって、自分の考えを述べ合い認め合う力

5 学校教育目標達成のために

1 確かな学力の育成	2 豊かな心の育成	3 健やかな体の育成
<p>① 授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の主体者である子どもが対話的に学ぶ ・わかる・できる楽しさを感じる ・既存の知識をもとに考え方をはたらかせ、解決する達成感を感じる ・育みたい資質・能力を常に意識した授業づくり。【考える力】【話し合いう力】 ・教師がしゃべる時間をできるだけ少なく。教師はコーディネーター。 <p>② 学習集団の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律は授業の基盤 ・授業ルールの統一 (板書で使うカード・ネームプレート・指示棒などの効果的な活用) ・話し合い活動を通して、他者の思い・考えを認め合う ⇒学習指導は生徒指導 ・授業に参加しない(できない)児童を〇に! <p>③ 基礎学力の徹底 ※考えて課題解決していくために、知識や技能は不可欠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題(出し方・まるつけの仕方) ・帯学習 ・テスト直し ・デジタルドリル <p>④ 専科・交換授業・授業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材研究の効率化。質の高い授業の提供を。空き時間には他学級・他学年の授業を見ることも推奨。 <p>⑤ 校内研究の充実 ・算数科を柱とした資質・能力の向上。 校内研究の成果が全ての教科に波及するように。</p> <p>⑥ 授業力の向上 ・算数科の授業力を上げる。⇒算数科の学力を上げる。 ・1回は指導案を作成して授業公開する体験を。事後研こそ大切に。 ・校内研究 若手研修 ミドルリーダー研修 他校の研究発表会 外部研修 O J T 研究会活動等</p>	<p>① 人権教育の充実</p> <div style="background-color: #fce4ec; padding: 10px;"> <p>総合育成支援教育 同和教育 外国人教育 男女平等教育</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる差別を許さず、人権を大切にした行動ができる子を育てる。 ・そのために、教職員自らが研修を通して、鋭い人権感覚を身につける。また、保護者との連携・信頼関係の構築、啓発を図る。 ・特に総合育成支援教育においては、障害のある児童の社会的参加・自立を目指して、一人一人の可能性を最大限に伸ばす指導に努める。LD等通級指導教室との連携し、ケース会議も開きながら、具体的な支援を摸索していく。また、すべての児童が障害のある児童との触れ合いを通して、障害についての理解を深められるようにする。 <p>① 道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去10年の研究の蓄積を生かす ・話し合い活動の充実。 ・道徳的実践力を培う指導の充実 <p>② 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支える生徒指導 ・自己指導力の育成 ・子どもとの対話を大切に ・厳しくも愛のあるメリハリのある指導 ・明親版「生徒指導の三機能」の活用 ・保護者との連携。大切なことは直接保護者の顔を見て伝える ・管理職との情報共有を怠らない。 ・不登校児童へのはたらきかけ。 大切なのは「思い」と「工夫」。 	<p>① 基本的な生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康観察や、生活アンケートなどを通して、心や体の健康について考え、健康な生活を実践する態度を育む。 ・特に、「早寝・早起き・朝ごはん」、スマホやゲームの使用については家庭と連携を図り、協力を得る。 <p>② 運動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の学習、休み時間や放課後の外遊び、運動会や持久走大会、部活動や記録会、体质主催のスポーツチャレンジなど、子どもの運動の充実・保障を行う。 <p>③ 保健教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭と連携し、薬物乱用・飲酒・喫煙・性にかかる正しい知識を身に着け、適切な行動ができる指導を行う。 ・フッ化物・歯磨き指導を通して、虫歯予防に努める。 ・立腰⇒全員が行うように。 <p>④ 食に関する指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭と連携、給食を通して栄養やマナーの大切さを理解し、望ましい食生活の習慣を身に付けるようにする。 <p>⑤ 安全教育・防災教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全ノートの活用し、自分の命を自分で守ろうとする態度を育てる。 ・避難訓練(地震・火災・水害)や実地訓練(HANAモデル)を通して、有事の際の役割や行動について理解を深めておく。

4 開かれた学校

① 教育活動の積極的な発信

- ・学校だより、学級だより、学校ホームページで発信を。学校の、また学年や学級の取組や様子を伝えることは学校の責務であり、保護者や地域と信頼関係を構築するために欠かせないことを自覚すること。

② 地域教材を活かした学習の充実

- ・『総合的な学習の時間、生活単元学習・生活科』を中心に。地域の協力を得るときは管理職に情報共有を。

③ 外の声を大切に

- ・年3回の学校運営協議会・年2回の学校評価アンケートの声を大切に。謙虚に受け止め、保護者・地域とも課題を共有。

④ 保幼小・大淀中ブロックの連携

- ・校種間のつながりを大切にし、互いの取組や子どもの実態、目指す姿などを共有し、先を見通した教育活動を展開していく

6 R7明親小学校のみんなでやっていくこと



○子ども一人一人を大切にする

- ・子どもに気持ちのよいあいさつ
- ・日常のコミュニケーションと共感
- ・複数の目で見る
- ・厳しい指導でも愛と対話を忘れずに
- ・個の実態に応じた学習支援

○教職員一人一人を大切にする

- ・教職員どうしが気持ちのよいあいさつ
- ・日常のコミュニケーション
- ・一人にしない（責任を押し付けない 一緒に）
- ・情報共有と組織的な対応
- ・教職員で共通理解したルールは必ず守る
- ・失敗する権利（経験を積む場）

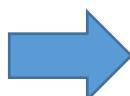
○信頼される学校づくりのために

- ・保護者や地域に気持ちのよいあいさつ
- ・教職員で共通理解したルールは必ず守る
- ・謙虚な姿勢。熱い思い。具体策。
- ・取組や子どもの良き姿を発信（HP おたより）

7 働き方改革の推進

★教職員が心身ともに健康であること

★仕事に対する熱意とやりがいを感じること



質の高い教育を
提供することが可能に！

◎R6は、R5と比べ約45時間（2年）～約80時間（5・6年）の授業時数の削減

○専科授業と交換授業……教材研究の効率化 質の高い授業実践 複数の教員で子どもを見守る

○ICT機器を有効活用……教材の共有化 デジタル教科書とミライシードの活用 校務DXの推進

○会議のスリム化と充実……読み上げだけの提案や反省は必要？ 意見を！アイデアを！

○配布文書の電子化……全保護者がスグール登録。印刷物は激減。

○つけたい資質・能力を柱にしたカリキュラムマネジメントの推進……関係単元配列表

○取組内容の改善はPDCAサイクルで……反省と改善は取組後すぐに 次年度への確かな引継

○電話対応時刻（午前8時～午後5時30分）

○『定時にかえるデー』……各自で設定。週に1回は17時15分までの退勤を目指して。

8 今年度の重点

「個の力量と同僚性のアップ↑」→チーム明親

大切にしたいキーワード

自分から 学年で 部会で 話し合って 相談 共有 責任 自覚 想像力
あいさつ 高め合い 認め合い やりがい 笑い 遊び心 向上心 謙虚 工夫

個の力量のアップ

- ・教材研究
- ・主任としての自覚と責任
- ・自ら学ぶ姿勢・工夫
- 挑戦（やってみる！）
- ・謙虚な姿勢
- ・自ら人とかかわる姿勢
(子ども・保護者・同僚)
- ・スキルアップデー（年8回）

※外部研修や全体研修会のみが自己研鑽の場ではない！

同僚性のアップ

- ・学年会
 - ・見守る部会・学ぶ部会
 - ・企画委員会
 - ・若手・ミドル研修会・企画委員会
 - ・学習推進委員会
- (研究・学力向上・GIGA推進)

※校内でも十分に学び合い高め合えることが多い。

○部会や会議・研修の設定

	月	火	水	木	金
	「部会」設定日	学年会	「部活動」設定日	「会議・研修」設定日	ご自由に…
第1週	見守る指導部会 (総育・生指)			職員会議	
第2週	まなぶ指導部会 (研究・学力向上)			研修(研究・他)	
第3週	GIGA推進プロジェクト?			研修(研究・他)	
第4週	(予備)(教科・行事部会)?			企画委員会	
第5週	(予備) ?			(予備)	

★火曜日の学年会では、確実に月曜日の部会での内容を伝達すること。

学校教育方針 構想概略図

京都市立明親小学校

1. 学校教育目標

学び合い 高め合い 自分も人も大切にできる明親の子

本校の児童につけたい資質・能力

『考える力』…既存の知識をもとに、自分の考えをはたらかせて解決していく力
『話し合う力』…課題解決に向かって、自分の考えを述べ合い認め合う力

3. 目指す学校の姿

- 学び合うことが楽しいと思える学校
- やさしさあふれるあたたかい学校
- 保護者や地域から信頼される学校

2. 目指す子ども像

- 「め」～めあてに向かって、自ら学ぶ子
- 「い」～命や心をいくしむ子
- 「しん」～心身ともに健康な子

4. 目指す教職員の姿

- 教育改革を自ら推進する教職員
- 情感豊かな教職員
- 心身ともに健康な教職員

5. 学校教育目標達成のために

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 開かれた学校づくり
- (5) 教職員の個の力量と同僚性の向上

6. 働き方改革の推進

- (1) 熱意と働きがいのあるあつい職場
- (2) 時間を意識した働き方
- (3) 業務の効率化
- (4) 業務の精選・適正化

7. 今年度の重点

「教職員の個の力量と同僚性のアップ↑」

子どもが互いに学び合い、高めえるような教育活動を学校全体で実践していく。児童の学力アップ↑と、人を大切にする心のアップ↑をねらう！